

## 別紙

### 温室効果ガス削減実施状況報告書

#### 1 事業の概要

- (1) 事業所の名称  
カルビー株式会社 広島工場 東棟
- (2) 事業所の所在地  
広島県 廿日市市 木材港北 16-9
- (3) 業種  
ビスケット類・干菓子製造業

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成18(2006)年度を基準年度とし、平成21(2009)年度から平成27(2015)年度までの7年間とする

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成18年度	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	8,826	6,626 -24.9	8,940 -1.3	8,170 7.4	7,121 19.3	7,953 9.9	7,109 19.5
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計	8,826	6,626 -24.9	8,940 7.8	8,170 7.4	7,121 19.3	7,953 9.9	7,109 19.5
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	エネルギー使用量(原油換算)は、18年度[4,308k1]に対し24年度は[3,275k1(-24%)]と、減少している、24年度は電気のCO <sub>2</sub> 排出係数の減少により、排出量は減少している。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：(以下は参考値 単位：t-CO<sub>2</sub>/生産量，削減率 (%))

温室効果ガスの種類	基準年度の 実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成18年度	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	0.4261	0.3133 -26.5	0.3804 10.7	0.4007 5.9	0.3633 14.7	0.3654 14.2	0.3518 17.4
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位(原油換 算k1)	0.2080	0.1540 -25.9	0.1862 10.5	0.1832 11.9	0.1702 18.2	0.1606 22.8	0.1621 22.1
実績に対する 自己評価	参考値として原単位を記入。24年度は生産量の減少(-7%)にて原単位は微増(悪化)、電気(中国電力)のCO <sub>2</sub> 排出係数変動のためCO <sub>2</sub> 原単位が変動する環境になっている						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	都市ガスの使用量を 27%削減（H27年度目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GHP空調機の運転管理改善</li> <li>・乾燥機の省エネ改善</li> <li>・製造加熱蒸気量の削減</li> <li>・不要時の設備停止の徹底</li> <li>・排熱回収装置の導入</li> <li>・燃焼装置等の適切な維持管理</li> </ul>
2	電気使用量の削減	電気の使用量を 23%削減（H27年度目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給排気ファンのインバータ回転数制御</li> <li>・インバータ制御エアポンプレッサの導入</li> <li>・乾燥機の省エネ改善</li> <li>・圧縮エアのプロア化</li> <li>・LED等の省エネ照明器具への更新</li> <li>・不要時の設備停止の徹底</li> <li>・設備の適切な維持管理</li> </ul>
3	生産効率の向上	エネルギー原単位を低減して 都市ガスと電気の使用量削減に 寄与する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備稼働率を高くして生産する （まとめ生産で、軽負荷生産をしない）</li> </ul>
4	メタン及び一酸化二 窒素排出量の削減	メタン及び一酸化二窒素排出の 防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラー等燃焼機器の適正管理</li> </ul>
5	フロン類排出量の削 減	フロン類排出の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロンガス使用設備の適正管理</li> <li>・設備更新時の低係数ガスの採用</li> </ul>

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量を30%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏面利用、会議配付資料廃止等</li> <li>・分別収集及び資源化の徹底</li> </ul>
	リサイクル率の向上	リサイクル率を99%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル品の全品回収</li> <li>・廃棄物のリサイクル製品化</li> </ul>
	その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献活動の推進</li> </ul>

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。